

建築全般についての

試験、評価、開発研究等を行う

(財)日本建築総合試験所

中小企業からの依頼試験、研修などもOK

日総試、GBRC といっても「ん？」という方が多いのでは？吹田市藤白台にある財団法人 日本建築総合試験所(森田司郎・理事長)の略称です。建築物とその材料などに関する日本の代表的な試験機関のひとつです。建築基準法や JIS 規格といった各種法令や規則に基づく検査、評定、認証などを行っていますが、依頼試験、共同研究、技能者の研修等も行っており、建築関係の中小企業によっては活用することができそうです。同試験所では「建築物や建材等に関する性能や試験方法についてお困りのことがあれば、とりあえずお電話してください」と話しています。



財団法人日本建築総合試験所 (GBRC) =写真左=は、国土交通省と経済産業省の管轄下にある公益法人。建築全般についての試験や評価、開発研究を行うことにより建築物の質、安全性の確保を図り、国民生活に貢献する、という目的で 1964 (昭和 39) 年に設立されました。

12,930㎡の敷地に本館のほか、耐火実験棟、音響・熱実験棟、動風圧実験棟などがあり、さまざまな装置、機器類が備わっています。吹田市の本部以外にも大阪・大淀、堺、京都、加古川、神戸などに試験室があります。年間の事業予算は 29 億 7 千万円 (平成 19 年度)。職員は約 160 人で、このうち最大組織の試験研究センターには 100 人近い技術者がいます。

組織と業務の内容は次の通りです。

◇ **試験研究センター** 建築全般に係る試験・研究。JIS 規格や建築基準法などの法律に基づく試験、性能評価、新技術・新材料等の開発を支援する実験・研究など。

◇ **建築確認評定センター** 建築

基準法に基づく確認検査・性能評価、住宅の品質確保促進法に基づく住宅性能評価・住宅形式性能認定などの業務。

◇ **構造判定センター** 建築基準法に基づく構造計算適合性判定の業務。

◇ **製品認証センター** 工業標準化法に基づく JIS マーク表示制度における製品認証及び公示検査業務。

◇ **システム認証センター** ISO 9001（国際標準化機構による、製品等を生産する企業・工場の経営方針や生産体制に対する規格）適合に関する認証機関としての事業。

このうち、最大組織の試験研究センターには、構造部、建築物理部、材料部、品質保証部の 4 部があり、周辺各地にある試験室は材料部に属します。

業務はこのほか、コンクリート技術についての研修や、独立行政法人国際協力機構（JICA）の要請で、外国の技術者に技術指導も行っています。

検査や認証以外に、建築関係の中小企業がこの試験所をどう利用できるのでしょうか。社会のニーズに応え、国民生活の向上に貢献することが同試験所の目的といっても、その性格、業務の内容から、企業側、特に中小企業が気軽に技術相談に出かけにくいかもしれません。

しかし、同試験所事務局の土井清・主席専門役兼業務課長らは「技術相談、技術指導というコンサルタント業務はやっておりません。しかし、ある程度出来上がった製品に対して、その性能などを試験・検査をしたり、次はこういうステップに進み、こういう試験・検査につなげていけるとか、どういうことを申請してゆけばいい、などのアドバイスができることもあります」と話しています。

また、耐熱剤や梁などを造って依頼試験を行ってもらう場合などは「性能の高い商品を作るために、また、JIS 等の条件をクリアするために、どういう検査や試験をやればよいか、といったことを提案できるかもしれません」というこ

コンクリートの強度などを調べる機器類。建築技術の信頼性を高める各種の装置が揃っています



とです。

研修事業ではコンクリート技術を中心に建築技術向上のための各種研修を行っています。工事監理者、工事施工者向けのコンクリート工事实務研修、コンクリートの現場試験技能者認定・登録などです。

受託調査研究、機関紙「GBRC」などを通じた最新技術の公表も行っています。

同試験所では「とにかく、建築関係でお困りなら、まずは、お電話をして下さい」と呼びかけています。

問い合わせなどは下記へ

財団法人日本建築総合試験所 〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1

事務局・試験研究センター <tel:06-6872-0391> fax:06-6872-0784

ホームページアドレス <http://www.gbrc.or.jp>

E-mail info@gbrc.or.jp

まとめ 株式会社 大阪彩都総合研究所

橋本 剛